

&lt;Japan Buy-out Deal Conference in 高崎&gt;

**企業価値向上シンポジウム****～事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、高崎にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、北関東・北越地区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A(mergers & acquisitions)に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、地方企業が経営基盤の強化や生産性の向上を目指して M&A やバイアウトの取り組みを行うケースが増えており、多数の事例が出てきています。この十数年の間に、関東地区を含む東日本地域においても、製造業(自動車部品、一般機械、電子部品、精密金型、電気機器、工具、非鉄金属、資材、化学、繊維、医薬品、日用品、食品、農水産物加工など)、小売・卸売業(食品スーパー、アパレルショップ、専門店、専門商社など)、サービス業(外食チェーン、教育サービス、医療・福祉・介護サービス、法人向けビジネス・サービスなど)、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、日本企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、戦略的 M&A や事業再編を検討している企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者などの方々にお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**【日時】**

2019年3月12日(火) 13:10~17:30 (12:40 受付開始)

**【会場】**

高崎ワシントンホテルプラザ 11階「ワシントンホール」(群馬県高崎市八島町70) JR高崎駅西口より徒歩3分

**【参加費】**

1名 18,000円(税込)

**【参加対象】**

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業(子会社を含む)の経営者(経営企画担当、財務担当、社長室など)
- 地域金融機関(地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

**【お申し込み方法】**

申込書でのFAX送信かWebサイト上(<http://www.jbo-research.com/>)で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

**Lead sponsors****Co-sponsors**

主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社みずほ銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

# プログラム

## 受付開始 (12:40)

### 手法解説/マーケット・レビュー (13:10-14:15)

テーマ：日本企業のM&Aの潮流とバイアウトの手法 ～近年の事例をふまえて～  
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

#### <概要>

近年、日本企業によるM&Aの件数が増加傾向にあるが、大手企業だけでなく中堅・中小企業においてもM&Aの手法が活用されている。首都圏の企業に加え、地方企業が関与するM&Aも増加している。本プレゼンテーションでは、近年の日本のM&Aの潮流について述べた上で、M&Aとバイアウトの特徴を比較し、バイアウトの手法の活用パターンおよび活用の際の留意点について解説する。また、製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、繊維、資材、木製品、食品、農水産物加工など）と小売・サービス業（外食チェーン、アパレルショップ、医療・介護サービス、教育サービス、その他）を含む多様な業種のバイアウト案件の動向について明らかにする。特に中堅・中小のオーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、大手企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

### 法務解説 (14:15-14:30)

テーマ：M&A/バイアウトの手法を活用した事業再編・事業承継の実務  
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 笠原康弘氏

#### <概要>

M&A/バイアウトの手法を活用した事業再編・事業承継の事例は近年多数見られるようになっており、その一般的な手法と、事業再編・事業承継を行うための事前の検討事項や実務上の留意点を法務の観点から概説する。

## 休憩 (14:30-14:40)

### 事例紹介①インタビュー・セッション (14:40-15:15)

テーマ：やすらぎの事業承継、カチタスの飛躍  
～事業モデルの転換によるV字回復と東証一部上場への軌跡～  
株式会社カチタス 代表取締役社長 新井健資氏  
株式会社アドバンテッジパートナーズ シニア パートナー 喜多慎一郎氏  
聞き手：デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社 シニアヴァイスプレジデント 永松博幸氏

#### <概要>

群馬県桐生市に本社を置くカチタスは、「中古住宅再生事業」の業界No.1企業である。カチタスの前身の「やすらぎ」は長らく業績が低迷し、創業オーナーは非上場化による大胆な経営改革と、外部の力を活用した資金調達力の増強が必要と判断、アドバンテッジパートナーズへの経営委任を決断した。新井社長を中心とする新経営陣は、「未来への扉を、『家に価値タス』ことを通じて 地域とお客様に。」という経営理念を掲げ、事業モデルの抜本的な刷新と組織の再活性化に取り組んだ。業績はV字回復し、2017年12月に東証一部上場を実現した。カチタスのこれまでの事業承継と経営改革、事業再生の軌跡を紹介したい。

### 事例紹介②インタビュー・セッション (15:15-16:05)

テーマ：オーナー企業の長期的な発展のためのバイアウト手法の活用  
～創業者が引退する事例と続投する事例の比較検討～  
株式会社MIRIVE 代表取締役社長 伊藤文彦氏  
株式会社ワールドツール 代表取締役社長 中島勉氏  
CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 代表取締役社長 清塚徳氏  
CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 ディレクター 前田泰典氏  
聞き手：キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 佐竹勇紀氏

#### <概要>

オーナー企業の事業承継といえば高齢のオーナー創業者の引退に伴う事業の売却というイメージが強いが、近年はさまざまな年齢・ライフステージのオーナー創業者が、さまざまな目的・ニーズでバイアウト手法を活用しており、CLSA キャピタルパートナーズはオーナー創業者の多様なニーズに合わせて柔軟な取引ストラクチャーや経営体制での経営支援に取り組んでいる。本セッションでは、バイアウト手法の活用方法の多様性の端的な事例として、創業者が株式を100%譲渡し創業者自身も即退任したミライブの事例、およびバイアウト後も創業者が一定の株式を保有し自ら経営を続けているワールドツール（両社とも本社は埼玉県深谷市）の事例を紹介する。

## コーヒーブレイク (16:05-16:25)

### パネルディスカッション (16:25-17:30)

テーマ：製造業を中心とする日本企業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～  
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 川野裕介氏  
株式会社マーキュリアインベストメント 取締役 事業投資部長 小山潔人氏  
ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社 代表取締役パートナー 金田欧奈氏  
司会者：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

#### <概要>

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている中堅・中小企業が多いが、M&A やバイアウトの手法はこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、製造業（産業財・消費財）および小売・サービス業を含む多様な業種の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、ニューオークボ（生パスタの製造・販売）、恵那金属製作所（精密切削加工）、シンクス（木材加工機械・金属加工機械の製造）、ダイフレックス（建築・土木防水システムの開発・製造）、マルホン（木質建材の輸入・企画・製造・販売）、ハート（玩具菓子製造）、などの多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法を活用する際の留意点や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。